

演出家・俳優養成セミナー2012

講師 講座順

# 演劇大学 in 心 こおりやま

Engekidaigaku in KÔRIYAMA  
2012 7/19(木) → 22(日)

文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」  
主催：文化庁/日本演出者協会 企画制作：演劇大学 in こおりやま実行委員会  
共催：郡山市/郡山市教育委員会/郡山市民文化センター(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)、  
ふくしま表現塾「風のうた」

## 今年の夏は郡山で、「表現する自分」に出会おう!

東日本大震災後の混乱の中で、演劇の持つ人間回生力ともいべき力を信じて昨年11月、あらゆる文化施設が崩壊した郡山で、第一回の「演劇大学 in こおりやま」を開催した。地震、津波のみならず原子力発電所の爆発、それに伴う放射線の拡散・・・「ふくしま」は「危険な町」というレッテルが貼られ、郡山市も決して放射線量は低くなく、果たしてこの町に人は集まってくれるのだろうか・・・しかし、そんな不安を吹き飛ばすかのような4日間のセミナーが展開した。日本演出者協会、郡山市民文化センター、県内のアマチュア演劇の仲間、子ども劇場、高校演劇・・・そして、県外からふくしまを応援しようと参加してくれた人々・・・演劇が「人と人をつないで成立する芸術」であることを改めて確信した。会場となった公共の施設は、まさに除染工事の真っ最中でかなりの騒音だったが、その中で参加者の見せた笑顔は、正真正正「最高」だった。セミナー終了後も、参加者同士のネットワークができ、お互いの演劇活動を応援しあい特に意気消沈していた郡山の劇団は、少しずつ元気を回復していった。震災後一年、まだまだ先行きの見えない「ふくしま」だが、郡山市内の文化施設は徐々に修復が終わり、さまざまな文化活動が再起動し始めた。「演劇大学 in こおりやま」も再開された郡山市民文化センターを会場に、第二回目を開催しよう、一回目のネットワークをより広げ強いものにしていこうと、準備に入った。今回も郡山市民文化センターの全面協力を得て、再び「演劇で元気になる」4日間を作る。7月19日から22日、皆さんの夏の4日間を、ぜひ郡山で過ごしていただきたいと思う。おあいしましょう! こおりやまで。

実行委員長 青木淑子



池内美奈子

2000年度文化庁在外派遣研修員として渡英、セントラル演劇学校のヴォイス・コースで学び、ヴォイス講師術修得、ヴォイス学修士取得。03-05年(財)セゾン文化財団の助成を受けて「showcase」を目的とした声と言葉のトレーニングを主催。05年より新国立劇場演劇研修所の専任講師、現在は同研修所ヘッド・コーチ。昨年はウェルズ音楽演劇学校にて俳優を指導する。俳優指導者アソシエーション代表。



神田陽司

早稲田大学卒業後、情報誌「シティロード」入社。演劇担当のち副編集長。その間に二代目神田山陽の講談に出会い、退社して入門。以後、山陽の弟子として正当派の講談を学ぶ。講談独自の「修羅場」を含む本格的古典によって鍛え上げられた歯切れのいい口調を駆使して、レポート講談、「阪神大震災」「講談ビル・ゲイツ」「はやぶさの奇跡」なども数多く発表している。また「坂本龍馬シリーズ」の創作を続けている。日本講談協会理事。



流山見祥

劇作・演出家・俳優・声優。第2次小劇場世代のリーダーとして40年以上にわたって疾走中。演出作品は、250本を越える。1984年流山見大事務所設立。アングラ劇からプロウエイ・ミュージカル「ユウリタウン」まで国内外で上演。国際的評価を得る。シニア演劇運動の実践家・運動家でもある。代表作に「狂人教育」「オールドハッチ」「ハイライフ」「贈る大切な」など。第44回紀伊国屋演劇賞団体費受賞。映画出演に「ミンボーの女」、声優としては「るろうに剣心」。最新作「宇宙兄弟」などがある。日本演出者協会副理事長・日本劇団協議会理事。



野崎美子

福島県出身。舞台芸術学院、劇団青年座研究所卒業。劇団公演で活動中。文化庁在外研修員として、ロンドンのRADIAで俳優教育を、モスクワのユーゴザバト劇場で演出を学んだ後、同劇場客員俳優として、2006年までモスクワに在住。2001年、モスクワ芸術座付属演劇学校マスタークラス卒業。帰国後、フリーの演出家、アクティングトレーナーとして活動。2011年の「ふくしま絵巻祭」では、開会式の演出を担当。



庄崎隆志

office風の器主宰。1961年杉並区生まれ。「デフ・パベツシアター・ひとみ」の旗揚げに参加。その後、創立メンバー、代表となる。松山善三演出の「赤い楯の物語」出演。そしてふじたあさや演出「曽根崎心中」の主役、遠藤謙演出「恋物語」主役など、俳優として表現方法を探求しながら、演出・脚本も手掛ける。在籍中の25年間で全国750か所、海外公演18か国、2000回以上の舞台を踏む。2005年、「デフ・パベツシアター・ひとみ」を退団し、office風の器を設立。俳優、演出、コンテンツライター、プロデューサーと幅広く活動。2009年に公開された、映画「ゆずり草」に主演。全国各地での講演やワークショップの講師としても活動。1983年第8回国際デフ・パントマイムフェスティバル審査員兼ジュリー特別賞(チェコスロバキア)。1992年(財)朝日生命厚生事業団より「平成4年度児童福祉文化賞」受賞。2010年横浜文化賞文化芸術奨励賞受賞。



大方斐紗子

女優。1939年3月9日、福島県生まれ。俳優座付属養成所10期を経て(有)現代制作所に所属。クラシック、ジャズ、シャンソン他の唄を特技としている。<舞台>「雪の女王」「出番を待ちながら」「ハロルドとモード」「じんぎよひめ」「ワンドミル・ハイビー」ピアノコンサート「エディット・ピアフに捧ぐ」等。<テレビ>「のためかンタービレ」「風のガーデン」「浅見光彦シリーズ41」等。<映画>「ラマーゲール」「うん、何?やまたのおろち伝説」等。ラジオでは「FMシアター家族の肖像〜硫黄島からの手紙〜」等代表作多数。



宮田慶子

1957年生まれ、東京都出身。80年、劇団青年座に入団。翻訳劇、近代古典、ストレートプレイ、ミュージカル、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に取り組んでいる。新国立劇場演劇芸術監督、社団法人日本劇団協議会常務理事、日本演出者協会副理事長。主な受賞歴に、第29回紀伊国屋演劇賞個人賞、98年芸術選奨文部大臣新人賞、第43回毎日芸術賞千田是也賞、第9回読売演劇大賞最優秀演出家賞など。



### セミナー会場 郡山市民文化センター

〒963-8878 福島県郡山市民地下町1番2号  
TEL.024-934-2288 FAX.024-934-2326

※駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。